

愛知県伝統的工芸品月間国民会議全国大会 基本計画策定業務委託 仕様書

(企画提案募集用)

1 目的

愛知県における「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催にあたって、大会全般の運営、展示・式典を始めとする催事の実施、事前のPR等、及び収支に関する計画を作成し、大会の円滑かつ効果的な運営に資することを目的とする。

2 業務の概要

(1) 愛知県伝統的工芸品月間国民会議全国大会基本計画案の作成

「別記」の計画の作成を行う

(2) 計画作成に付随する業務の実施

- ① 準備委員会等への出席・資料作成並びに各種打合せ及び現地調査等への同行
- ② 基本計画案を作成する上で必要な情報収集及び大会関係者との調整
- ③ クリエイター、学生とのコラボレーション企画等、2020年度から準備が必要な催事に係る関係者との調整
- ④ 準備委員会事務局との定期的な打合せ
- ⑤ 2021年に設立予定の愛知県伝統的工芸品月間推進協議会の公印作成
- ⑥ 基本計画案の作成に必要なその他の業務

3 委託期間

契約締結日から2021年3月19日（金）まで

4 成果物

(1) 基本計画作成

○成果物：開催計画及びその概要版 紙で8部及び電子データにて提出

○提出期限：2021年2月22日（月）

※ 基本的に、A4判縦、カラー、横書き、左綴じとする。ただし、図面関係等、及び開催計画概要版は、より適切なサイズでよいものとする。

※ 開催計画及び同概要版は、Microsoft Word（2010以降）、Microsoft PowerPoint（2010以降）、又はMicrosoft Excel（2010以降）で作成すること。会場全体図、会場レイアウトは、Adobe Acrobat(PDF)形式で提出すること。

(2) 愛知県伝統的工芸品月間推進協議会 公印

○成果物：公印1個 適切なデザイン、サイズで作成

○提出期限：2021年3月中旬（別途調整）

(3) その他

年度途中の準備委員会事務局等において、開催計画案を検討するため、以下のとおり、途中段階で案を取りまとめ、提出することとする。

・2020年12月中旬 愛知県伝統的工芸品月間推進協議会主催事業に関する部分の計画素案の提示

・2021年1月中旬 基本計画素案の提示

※ この他、経済産業省、(一財)伝統的工芸品産業振興協会等との調整の必要上、準備委員会事務局から資料の提出を要求された場合には、速やかに提出することとする。

5 提出先

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県伝統的工芸品月間国民会議全国大会準備委員会事務局

(愛知県経済産業局産業部産業振興課 繊維・窯業・生活産業グループ内)

担 当 嶋田、水野

電 話 052-954-6341 (ダイヤルイン)

F A X 052-954-6977

【別記】愛知県伝統的工芸品月間国民会議全国大会 基本計画策定業務

1 全体テーマ、ロゴマーク、キャッチコピーの作成

本大会を通じて、伝統的工芸品産業を次代に向けて活力ある産業としての振興につなげるきっかけとするため、メイン会場となる愛知県国際展示場の特徴（空港島内に所在 等）を活かした効果的な催事の提案につながる全体テーマ、ロゴマーク、キャッチコピーの作成を行う。

2 目標来場者数の明確化

基本計画は、本大会における目標来場者数を明確化したうえで、達成できるよう催事内容及び広報、来場促進を考慮したものにする。

なお、開催期間においても新型コロナウイルス感染症の影響が想定できるため、十分考慮すること。

3 愛知県伝統的工芸品月間推進協議会主催の催事に係る実施計画

基本計画には以下の項目を盛り込むこと。なお、会場レイアウトや催事を企画する際は、新型コロナウイルス感染症の影響に十分配慮し、必要であればオンラインコンテンツの企画や、通信インフラの用意等に係る提案を行うこと。

(1) メイン会場となる愛知県国際展示場の会場使用基本計画の作成

ア 会場平面図・展開コンセプト等の作成

イ 2021年11月27日（土）に会場内スペースで開催予定の合同開会式の開催計画（合同開会式では、関係者によるテープカット及び歓迎の出し物（地域伝統芸能 等）を行う予定）

(2) 地元催事の実施計画の作成

本委託事業では、以下の例示を参考に、よりPR効果の高い催事の検討を行い、基本計画を策定する。

ア 愛知県伝統的工芸品展

- ・愛知県内の国指定伝統的工芸品14品目に係る展示・販売を行う。なお、業務委託期間内に伝統的工芸品の品目数に増減がある場合は、柔軟に対応すること。
- ・伝統的工芸品に対する来場者の関心や印象を高め、わかりやすく、制作実演や製作体験を組み合わせたイベントとして好感度の高いブースデザインや展示方法及び実施内容を企画すること。

- ・各展示ブースの展示テーマについては、提案採択後に産地組合等と調整する過程で変更があり得るものであること。

- ・産地組合との調整等の過程で立体図面を作成すること（簡便なもので構わないこと）。

イ 愛知県郷土伝統工芸品展

- ・国の伝統的工芸品に指定されていない愛知県内の郷土伝統工芸品の展示・販売を行う。

- ・この催事は公募で実施する予定であるため、多くの参加団体（又は企業）から応募があるよう、魅力的な企画概要を明示すること。

ウ 企画展

- ・愛知県内の伝統的工芸品と、クリエイター、学生等とのコラボレーション企画や、若手職人、産地間連携等による作品展等、伝統的工芸品の新たな可能性を示す展示・販売等を企画すること。

- ・外部機関との連携が必要な企画は 2020 年度中に準備を行う必要があるため、迅速かつ柔軟に対応を行うこと。

エ ワークショップ

- ・愛知県内の伝統的工芸品等に係るワークショップを企画すること。

- ・実施内容、参加費等の細部については各伝統的工芸品産地等と綿密に調整の上、検討すること。

オ 愛知県が実施する伝統的工芸品関連事業の成果波及

- ・愛知県が実施する伝統工芸産業ブラッシュアップ事業等の成果を広く波及する展示・販売等を企画すること。

カ 商談会、交流会等

- ・海外バイヤー、国内バイヤーと伝統的工芸品産地企業等との商談会や、産地間の交流を促す事業を企画すること。

- ・海外バイヤーを招聘する事業については、外部機関との連携が想定できるため、連絡、調整等について準備委員会と協力して進めること。

キ ツアー関連

- ・県内の伝統的工芸品産地を始めとする各所を巡るツアーや、小中学生等の会場見学ツアーを企画すること。

ク 同時期に開催される催事との連携

- ・同時期に愛知県国際展示場で開催されるイベント（ロボカップアジアパシフィックあいち 2021 等）と連携し、相乗効果を図ること。

ケ 付加提案業務

- ・上記の他、愛知県の伝統的工芸品等の特徴や、会場の利点を活かして、海外へのPRを行う展示・交流・広報等の事業を企画すること。
- ・愛知県独自の取組として、今後の伝統的工芸品産業振興のモデルとなるよう魅力的な事業を企画すること。
- ・付加提案業務の内容は、愛知県独自の取組として非常に重要であるため、関係者と協力して、より良い提案ができるよう務めること。

(3) 広報・来場促進計画等の作成

ア 開催年度における広報計画の作成

マスメディア、ウェブサイト、SNSを用いたPR、学校向けの広報、その他効果的なPR活動の規格

イ 車両誘導計画等の作成

- ・会場周辺の車両誘導計画を作成すること。一般客用駐車場、関係者用駐車場、来賓用駐車場、シャトルバスの発着スペース、その他バス等大型車両駐車スペースを設けること。愛知県国際展示場以外に駐車場の確保が必要と認められる場合は、その候補地及び駐車可能台数も明示すること。
- ・交通誘導等に必要となると見込まれる人数及びその配置箇所を明示すること。

ウ 会場へのシャトルバス等の運行計画の作成

- ・全国大会の来場促進を図るため、県内各地からのシャトルバスの運行計画を作成すること。

オ その他、基本計画に盛り込むことについては準備員会事務局等と調整し、柔軟に対応すること。

カ 本業務内容は準備委員会での議論のたたき台として活用するものであることから、検討状況によって適宜変更の指示があるため、柔軟に対応すること。

【参考】 2021年伝統的工芸品月間国民会議全国大会の概要

1 日程 2021年11月26日(金)から11月29日(月)まで

日 程	内 容	会 場
11/26(金)	式典、懇親会等（国主催）	名古屋市内
11/27(土)～29(月)	開会式、展示会等（地元主催）	愛知県国際展示場

2 場所 愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）（常滑市）等

3 主催 経済産業省、伝統的工芸品月間推進会議、（一財）伝統的工芸品産業振興協会、日本伝統工芸士会、愛知県伝統的工芸品月間推進協議会

4 内容

(1) 地元催事

展示関係（県内の伝統的工芸品の展示販売、各種企画展）、商談会 等

(2) 国等による催事

式典関係（記念式典等）、展示関係（全国の伝統的工芸品の展示販売） 等

5 県内の伝統的工芸品

伝統的工芸品は、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和 47 年法律第 57 号）に基づき経済産業大臣の指定を受けた工芸品であり、本県では次の 14 品目が指定を受けています。

	品 目	地 区	指定年月日
1	有松・鳴海絞	名古屋地区	1975年9月4日
2	常滑焼	知多地区	1976年6月2日
3	名古屋仏壇	名古屋地区	1976年12月15日
4	三河仏壇	西三河地区	1976年12月15日
5	豊橋筆	東三河地区	1976年12月15日
6	赤津焼	尾張地区	1977年3月30日
7	岡崎石工品	西三河地区	1979年8月3日
8	名古屋桐筆筒	名古屋地区	1981年6月22日
9	名古屋友禅	名古屋地区	1983年4月27日
10	名古屋黒紋付染	名古屋地区	1983年4月27日
11	尾張七宝	名古屋地区、尾張地区	1995年4月5日
12	瀬戸染付焼	尾張地区	1997年5月14日
13	尾張仏具	名古屋地区	2017年1月26日
14	三州鬼瓦工芸品	西三河地区	2017年11月30日

